

遠鏡観測部門報告 Report of Telescopic Meteor observations in February,2020. No.431

担当幹事 殿村泰弘 (Tonomura Yasuhiro) 宮城県富谷市 (Tomiya-shi Miyagi-pref,Japan)

2020年2月の望遠鏡観測の結果を(表-1)に示します。今月は、寺迫氏から観測報告がありました。

観測者 Observer	観測地 Locality	夜数 Night	時間 Time	流星数 Meteor			備考 Remarks
				Plot	S' n	Total	
寺迫 正典 (Terasako Masanori)	静岡県浜松市北区 (Hamamatsu shizuoka-pref)	6	400	-	89	89	25cm×51 1.6° L.T. 15cm×25 2.7°Bino. 40cm×81 1.0° L.T.
2020年2月計		6	400	-	89	89	HR 13.4

(表-1) 2020年2月望遠鏡観測結果

Table 1 Summary of the Telescopic Meteor observations in February,2020

● 出現数変化

2020年2月の出現数変化を(表-2)に紹介します。

日	開始	JST	終了	JST	分	中央時	観測方向 (Direction)	Plot	Seen	Total	HR	Mag	See	CI	観測者 (Observer)
1	27	45	28	45	60	1.802	CVn,UMa,,Dra,UMi,Cep,Cas	-	27	27	27.0	12.5	G		25cm L.T. *51 寺迫(Terasako M)
1	28	55	29	55	60	1.851	Her,Aql,Oph,Ser,Sct,Sgr	-	2	2	2.0	12.5	G		15cm Bino. *25 寺迫(Terasako M)
6	18	30	19	0	30	6.406	Ari,Cet,Psc,Sci	-	7	7	14.0	11.5	rP		40cm L.T. *81 寺迫(Terasako M)
10	28	45	29	45	60	10.844	Her,Sge,Vul,Aql,Del,Equ	-	9	9	9.0	11.5	rP		40cm L.T. *81 寺迫(Terasako M)
13	18	30	19	0	30	13.406	Eor,Phe,Sci,Cet,Aqr,Psc	-	1	1	2.0	10.0	rP		15cm Bino. *25 寺迫(Terasako M)
14	28	37	29	47	70	14.842	Her,Aql,Sge,Vul,Del	-	19	19	16.3	12.0	rG		25cm L.T. *51 寺迫(Terasako M)
23	28	5	29	5	60	23.816	Boo,CrB,Her,Aql,Sge,Del	-	24	24	24.0	12.0	rG		25cm L.T. *51 寺迫(Terasako M)
23	29	10	29	40	30	23.851	Aql,Del,Aqr	-	0	0	0.0	10.5	M		15cm Bino. *25 寺迫(Terasako M)
6 Night						400 Min.		0	89	89	13.4				

(表-2) 2020年2月の望遠鏡流星の出現数変化

Table 2 Telescopic Meteors Observational data in February, 2020

● 光度分布

2020年2月の望遠鏡流星の光度分布は、(表-3)に示すとおりです。

	-5.0	-3.0	-2.0	-1.0	0.0	1.0	2.0	3.0	4.0	5.0	6.0	7.0	8.0	9.0	10.0	11.0	12.0	13.0	L-Mag	Total	Avg Mag.
寺迫 (Terasako. M)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	3	15	41	27	0	10.0 - 12.5	89	10.94
<b>Total</b>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	3	15	41	27	0		89	10.94

(表-3) 2020年2月の望遠鏡流星の光度分布

Table 3 Magnitude distributions of the Telescopic Meteors in February, 2020

(表-4) 2020年2月の望遠鏡流星の各夜の光度分布(寺迫氏)

Table 4 Magnitude distributions of the Telescopic Meteors in February,2020(Terasako)

Date(UT)	6.0	8.0	9.0	10.0	11.0	12.0	L-Mag	Total	Avg Mag.
1.802		1	1	3	12	10	12.5	27	11.07
1.851				2			12.5	2	10.00
6.406				3	4		11.5	7	10.57
10.844	1		1	1	6		11.5	9	10.11
13.406		1					10.0	1	8.00
14.842				6	10	3	12.0	19	10.84
23.816			1		9	14	12.0	24	11.50
23.851							10.5	0	
<b>Total</b>	1	2	3	15	41	27		89	10.94

寺迫氏から、2月の観測についてのコメントが寄せられていますので、以下に紹介します。

今月は、自称ゼニス・クロス観測を夜半後(明け方)に北方向、東方向をそれぞれ1回ずつ行いました。私の過去の観測と比較すると、ごく標準的な出現でした。その他は、夕方・明け方ともに太陽限界を各種望遠鏡を使用し、観測しましたが、23/24の15cm双眼鏡での結果が0個のように、この所、

光度9等級より明るめのものが、やや少ないように感じられました。

併せて19年の観測の総括も寄せられましたので、以下に紹介します。

各流星群のプロット観測は、この報告では除外しています。太陽限界での観測(彗星搜索)は夜半前(夕方)が、235分で33個(HR8.4)、夜半後(明け方)が、550分で77個(HR8.4)同じ結果となりました。

夕方は観測高度60°の垂直搜索を含んだため、観測流星数が増え、このような結果になりました。自称ゼニス・クロスの観測ですが、夜半前・後の結果を合わせた形で報告します。まず、北方向ですが、595分で266個(HR26.8)、

東方向が360分で142個（HR23.7）、西方向が180分で62個（HR20.7）、南方向が210分で83個（HR23.7）という結果です。西方向は夕方の観測のみで、条件的には悪いですがHR20越えて、北方向を除くと、私の観測では標準的な出現と考えています。今回は各方向（エリア）のプロット図は大きな変化はありませんので送信しません。相変わらず、北方向の出現が多かったのが印象的です。

寺迫氏からは毎月興味深いコメントが寄せられています。わたしたちに色々な示唆を与える観測結果です。

#### ● 幹事から

4月からこれまでのフルタイム勤務を卒業し、週3日勤務の非常勤講師として2つの中学校を掛け持ちします。どうやら、週3日の勤務も短時間で終わる予定なので、自由な時間が増えることが確実です。

これは今年の流星会議の準備に充てる予定で考えていたのですが、予断を許さない状況です。そのときはノンビリと観測する時間に充てます。

（2020年3月30日 記）

## 2020年流星会議の開催について

2020流星会議 実行委員長 殿村 泰弘

本来ですと、今年の流星会議の案内を今月号の天文回報で紹介する予定でしたが、東京都をはじめ7都府県で、「非常事態宣言」が発令されました。他の地域でも、毎日多くの新型コロナウイルス感染者が増えている状況です。

「ねぶた祭」「仙台七夕」など全国的な行事が中止されるなど、「三密」を回避することが喫緊の課題です。天文関係でも多くの行事の今年度の開催を中止しています。

宮城県でも、クラスター感染が疑われる集団感染が連日報告されています。8月末までに状況が改善されるとは思われません。NMS幹事会でもML上で意見交換を行い、以下の結論に達しました。

**今年の流星会議は、「中止」とします。**

なお、来年度以降の開催については、今後の状況を考えながら幹事会で検討して行く予定です。早く感染は終息することを願うばかりです。

（2020年4月12日 記）